



第127号
平成29年11月15日
発行：公益社団法人
日野市シルバー
人材センター
編集：広報委員会
日野市日野本町2-4-7
Tel: 042-581-8171



会員数
平成29年9月30日
計 1,673名
男性 1,199名
女性 474名
9月入会者7名
(男5名、女2名)
9月退会者8名
(男8名、女0名)

日野市シルバー「ここ」にあり！ まちづくり市民フェア 参加の意義を再確認



日野市SCのブース

日野市内の市民活動団体が年に1度集って市民のみなさんと交流する「まちづくり市民フェア2017」が10月15日(日)、市民の森ふれあいホールで開かれました。昨年が続いて出展した日野市シルバー人材センター(SC)は、ブースでの展示・販売とチラシ配布に



工房クローバーのコーナー

よるPR活動などで来場者に「センター、「ここ」にあり！」を強くアピールしました。

多彩な演出でフェア盛り上げ

フェアは参加団体が市民に活動を知ってもらうとともに、交流を通してまちづくりに向け連帯感を盛り上げるのが狙い。あいにく朝から雨が降り続きましたが、ホール内には計78の参加団体が設けた約50のブースが立ち並び、ステージではチャアリーディング演舞、よさこい踊り、ライブ演奏が披露されるなどお祭りムードもいっぱい。会場はブースを訪れて買い物をしたり、ステージイベントを楽しむ来場者で終始にぎわいました。

当センターの今回の出展はリサイクル事務所が小物の家具や家電、工房クローバーが手芸品などをそれぞれ販売。広報委員会がPRチラシを配布しました。センターのブースには200人近くが立ち寄り、品物を手に販売担当者に



チラシを配る広報委員

秋はフェアの季節。そのフェアで市民や活動団体と触れ合い、信頼のきずなを深めることができれば、それは日野市SCの地域への浸透、そして就業機会の拡大にもつながっていくのではないかと……フェア参加の意義を改めて確認できた1日でした。

工房クローバー 北田正子

工房クローバーの活躍を市民のみなさまに知っていただける何よりのチャンスと参加しました。

(2面1段へ続く)

共働・共助

配分金の支払日

11月20日(月)
12月20日(水)
1月19日(金)
2月20日(火)
3月20日(火)
4月20日(金)

(1面4段から)

当初の計画よりスペースが広くなり、常設の商品のほとんどを運んでお客様を待つことにしました。売り上げは残念な状態でしたけれど宣伝効果はあったと思います。

今後色々な所に出店を考慮していますので、皆様のご来店をお待ちしています。

リサイクル事務所

副所長 市川勝正

当事務所は昨年に続き2度目の出展。小物を中心に20点程並べましたが、売れたのはわずかで。我々のブースは、会場奥の出口に近かったので帰り際のお客様を期待したけれど外れ。ただし、我々のブースに出展した商品と配布チラシはPRに貢献。是非、次回の出展も企画したいと思います。

広報委員会

広報委員 戸石哲雄

「まちづくり市民フェア」は、出展者の手作り感の強いイベント。

今回当SCは、前年の初参加と異なり、ブース出展に加え、フェア全体の仕事も引き受けました。

会場のふれあいホールの床シート設置とブースのパネル組み立て

の班長を、事務局の長谷川職員が務め、ボランティアの学生や出展者を指揮。広報委員会は、ホール内でPRチラシ配布と、雨模様の場合出展者用駐車場へ搬入・搬出の誘導を担当し、市民フェアを文字通り外から支えました。

来年は、会員の皆様にはフェアへ参加し市民にSCをアピールする大切さを感じていただきたいと思います。

平成29年度

第2回地域班長会議

10月13日(金)9時半より生活保健センターで行われました。

参加者は、地域班長、全理事及び事務局担当者。有賀会長の挨拶で始まり、各委員会の29年度のこれまでの活動報告などがありました。

	H28年度	H29年度	増減
契約累計金額(千円)	276,704	266,193	▲3.9%
就業実人員(人)	1,184	1,190	6人
就業率(%)	72.1	71.1	▲1.0%

4月～8月の累計実績は上の表のとおりで就業実人員だけプラスです。

平成29年度前期地域班会議の質問と回答(抜粋)

	質問	回答
A	炎天下で4時間立ち仕事は危険だ。対策を講じるべき。	就業時間の細分化やローテーション方法の変更など、リスクの軽減に向け検討いたします。
B	就業場所で指揮命令があり派遣事業のようだ。	実態を確認し、委託元へ改善を申し入れ、場合には派遣契約へ切り替えも検討します。
C	職場リーダーの素養によっては仕事の効率上がるので、リーダー研修を実施すべきだ。	職場内で互選しているので、現時点では職場リーダー研修等は予定しておりません。
D	全戸配布業務の単価について、傾斜地の単価を別に設定してほしい。	傾斜地の単価を別に設定することは難しい。配布物の量(枚数等)についてはお客様と協議します。

前期地域班会議で出された質問と回答は左表のとおり。(抜粋)

理事会ニュース

★第6回理事会 10月30日

- ・審議事項Ⅱ正会員の入会(27名承認、11月1日入会)
- ・報告事項Ⅱ平成29年度事業実績(4～9月分)Ⅱ契約金額3億2,469万円(前年度比3.8%減)

「センター行事日程」

- 12月8日(金)10時入会案内説明会Ⅱ生活・保健センター
- 12月7日(木)「明星大学」探訪(多摩モノレール中大・明星大駅9:50集合)Ⅱ交流会PT

「お知らせ」

スクールガードボランティア(学童通学安全見守り)運動始動!
6月よりの募集で、12名の応募。日野市教育委員会を通じて各小学校に届け出をし、11月から運動に参加しています。ちなみに、日野市全体では登録ボランティアは1604名。追加登録を希望の方は、事務局までお問い合わせください。

訂正前号「地域班々長の交代」で誤りがありました。訂正してお詫びします。

正Ⅱ藤峰賢宜
誤Ⅱ藤峰賢宣

年に1度の 女性会員交流会

5年目を迎えた女性委員会主催の29年度「女性会員交流会」が11月9日(木)午後、生活・保健センターで開催されました。

出席者は女性会員27名、女性委員会委員、事務局職員など10名で総勢37名。前回より少ない出席者数でしたが、より親密な雰囲気になりました。

渋谷女性委員会委員長の挨拶後、市環境共生部ごみゼロ推進課、佐々木課長補佐による「今日からできるごみ減量」の「3(さん)きり運動」のお話を聞きました。3きりとは、「食べ切り、使い切り、水



「ミニミニ脳トレ体操」をする女性会員

切り」。併せて「ダンボールコンポスト」の紹介があり、日頃迷うゴミ捨てに関する質疑応答も。

委員会が用意した茶菓で一服後、渋谷委員長が両手を使った「ミニミニ脳トレ体操」を紹介。全員で楽しみ盛り上げました。

その後の懇談会には事務局職員が各々のテーブルに着き、会員からの質問や現状につき話し合いが持たれました。

そこでは多くの会員が、いつまでも元気で楽しく就業したいとのお願いであることが分かりました。

第5回会員交流会

国技館「土俵祭り」見学と両国・浅草散策

平成29年9月9日(土)、両国・浅草散策交流会を実施しました。

「土俵祭り(右下の写真)」においては、協会役員の参列した儀式を見学。一般入場者と共に60分間神聖な時間を過ごすことが出来ました。

昼食は「浅草三定屋」で、シルバー人材センターの今後について参加者で語り合うことが出来ました。

両国・浅草界隈の散策は個人個人自由気ままに、地域MAPを片手にお土産として珍しい物を購入。

また楽しく散策して帰路につきました。

今後、センターから独立した会員による

自主組織づくりをめざして、会員交流会を実施してまいります。

(交流会PT)



リサイクルフェア

10月21日〜25日開催

リサイクルフェアを万願寺のリサイクル事務所で開催。今回初めて5日間とし、日替わりで20%引きのお買い得商品を準備しました。

10月は天気がいいだろうとの予測は見事に外れ、この期間台風21号の影響を受けほとんどの日が雨となりました。それでも22日の日曜日には売り上げは持ち直し、ほっと一息。従来と異なる形でフェアをおこなったので結果を検証し、今後の運営に生かしていきます。

委員会通信

広報委員会

今年の「まちづくり市民フェア」(10月15日)に参加した広報委員会は、フェアの最中に、当日の雨天を吹き飛ばすようなグッドニュースに遭遇しました。

この日、日野市SCの展示・販売ブースに1人の女性が立ち寄り、応対したSC会員に「最近、そちらに仕事を頼みましたが、お仕事ぶりが本当にいいねい、感動しました。改めてお礼を言いたくて、ここに来ました」と言われました。

1人暮らしの方が依頼したのは、家具などの移動と部屋の照明器具の付け替え。リビングサポーターの男性2人が出向いて作業。仏壇の移動では方位にも配慮し最適な場所をアドバイス、作業には細心の注意を払ったそうです。

昔から言われる「真心を込めた仕事は、人の胸を打つ」の言葉がそのまま再現されたようなエピソードですが、このようにお客様から感謝されるのは、同じSCで働く仲間としても誇らしいことであります。リビングサポーターのお2人、いい話を本当にありがとうございます！

日野市健康交流事業

「晴ればれ健康シニア
ライフ」を共催

10月27日、昨年に続き「晴ればれ健康シニアライフ」が、当センターと日野市老人クラブ連合会との共同運営で、多摩平の森イオンモールの3階ホールで開催されました。このイベントは日野市の健康交流事業の一環であり、市職員も来場しました。

午前中は布花コサージュの講習会、午後はぴんしゃんウォーキング講習会のプログラムで、どちらも



質問して熱心に学ぶ受講者

多数の参加者による笑い溢れる楽しいイベントとなりました。

布花コサージュ講習会は50余名の方が、当センターの女性委員会や日老連による丁寧な指導のもと、和気あいあいの中にも真剣なまなざしでバラの花作りに挑みました。

ぴんしゃんウォーキング講習会は140名近い参加者があり、活気あふれる講習会でした。指導は日野市出身の小野寺MARIKO氏。ユーモアたっぷりに「最後まで自分の足で歩く」を目標とした、健康的で正しい歩行術を説明・実演しました。健康的に歩くことは、身体の不調の改善、ストレス発散、自律神経調整効果があるとのことお話しに、一同「納得！」の表情で楽しげに汗をかいていました。



お手本を示す

〔平成29年度安全標語優秀作〕
自転車は 減速徐行と 目配りで 吉山 修(南平2)

あいさつ運動

全小中学校で過去最多の79名

秋晴れの11月1日、市内の小学校(17校)・中学校(8校)の登校時間帯に校門で挨拶運動が実施されました。笑顔で挨拶する子、はにかむ子など様々です。1年生も学校になじんで元気に登校してきます。当SCは毎回ボランティアで参加していますが、今回の参加者は過去最多の79人でした。次回は1月9日(火曜日)です。



旭が丘小であいさつする会員

東京都SC連合

「安全宣言」

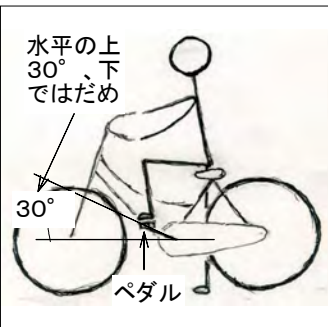
東京都の全てのシルバー人材センターは、「安全はすべてに優先する」の基本理念のもと、組織一丸となって、事故ゼロを目指す。
(H27年7月1日)

- 一、危険または有害な作業を内容とする業務は受注しない
- 一、事故の未然防止のために必要な知識・技能の情報を共有する
- 一、事故の情報を分析し再発防止を徹底する

自転車事故を無くそう②

東京しごとセンター安全大会から

当然のことながら自転車は止まったり、速度が下がると倒れやすくなる。発車するとき、踏み出す足のペダルの位置を水平から上30度にするると早くスピードが上がる。水平から下ではふらつき率が約3倍にもなります。



水平の上下はだめ
30°
ペダル

市実施の特定健診、いきいき健診は無料で受診できます。
★各種がん検診、肝炎ウイルス検診等については市健康課にお問い合わせください。
☎042(581)4111